

# 文学開眼

熊本大学教養部教授 首藤 基澄

最近私は「藤村の詩(審美社)」という小著を出した。私としては四番目の著書だが、文字通りの小著で、四番バッターとしてはいささか軽すぎるというくらいがないでもない。しかし、本の価値は内容次第で、重量で決まるというものでもないなどと、自ら慰めている。古紙には何キログラムいくらという値段がつくが、古本を計り売りしているという話は、いまだかつて聞いたことがないからである。

小著「藤村の詩」に愛着があるのは、今から三十年ほど前の一つの出会いにまでさかのぼる。大分県の田舎の農業を主体にした高校へ入学して間もなく、私は蓄膿症の手術をし、一カ月近く学校を休んだ。中学・高校と野球部に籍をおき(たまにしか勝つことはなかったが)、読書など全くしたことがなかったため、この予後を養育期間は、私が私自身のことを考える最初のまとまった時間であった。この時、私はたまたま藤村の「新生」を手にし、その主人公の苦悩が人生苦として納得された。当時の私の国語力では、その内容をど

こまで理解できたか怪しいものだが、問題は理解の深浅ではなく、感動の多寡(たか)である。私は魂をつきよさぶられ、手で引き出されるような衝撃をうけた。貧しい庶民の日常感覚で、手に取るように納得される世界が、そこにはあったのである。以後、「破戒」「春」「夜明け前」と読んでいき、私も文学を勉強してみようという密かなる決意をした。

汽車が白河を通り越した頃には、岸本は最早遠く都を離れたやうな気がした。寂しい降雨の音を聞きながら……  
「あ、自分のやうなものでも、どうかして生きたい。」  
斯(こ)う思って、深く溜息を吐(つ)いた。(「春」)

というつぶやきは、一つの啓示のようには私の心に食いこんできた。藤村の周囲には、天才的な北村透谷や上田敏の外、多くの俊英がいた。藤村は一高を受験して失敗し、文学を志しただけに、己の卑小さをいやというほど思い知らされていた。従って、「自分のやうなもの」という意識は、どうせ何にしても駄目だという自己放棄につながりかねないが、それを敗者の居直りで、「自分のやうなものでも」と切り返し、現実の人生にかわり続けたのである。

こうした藤村に出会い、文学に開眼した私は、敗者の視座をテコにして、人生を鋭く照射した文学者、高村光太郎、金子光晴、福永武彦の研究をした後、ようやく藤村へ返り、

主人公岸本捨吉の真の人生を求める彷徨、とりわけ「あ、自分のやうなものでも、どうかして生きたい。」



その序説をものにしたという次第である。次は私の内部の叫びを言葉にしてみたい。

## 告知版

### 育児就学についての巡回相談

県教育委員会では、発育や発達面で育児法や指導法についてお悩みのお父さん、お母さん方や保育園、幼稚園、学校の先生方に専門的な立場からお手伝いする巡回相談を実施します。

#### 相談担当者

- ◎医学 各都市の小児科、整形外科等の専門医師
- ◎教育 各分野の専門教師
- ◎福祉 福祉行政等の担当者
- 申し込みの方法
  - 市町村教育委員会に電話または口頭で会場及び期日(いずれの場合も午前10時から)
  - 球磨郡 球磨郡医師会館 十一月十六日(水)
  - 球磨郡多良木町大字多良木青井手三丁目五
  - 人吉市 人吉市医師会館 十一月十七日(木)
  - 人吉市南泉田町七二二一
  - (県教育委員会)

### ルノワール展開催

#### 趣旨

十九世紀から二十世紀にかけて、フランス近代絵画に大きな足跡を残したオーギュスト・ルノワール(一八四一～一九一九)の画業を油彩画、水彩画など七十余点により紹介する。

- 作品内容 油彩画 約五十点
- 水彩画 約二十点
- デッサン 約十点
- 版画 約十点
- 計 七十点
- 余点

会期 昭和五十八年十一月一日(火)～十二月四日(日) 三十日間  
(うち日曜五日、祭日二日)  
(うち日曜五日、祭日二日)

会場 熊本県立美術館  
熊本県立美術館  
熊本日日新聞社

- 観覧料
  - 一般 八〇〇円(七〇〇円)
  - 大・高生 六〇〇円(五〇〇円)
  - 小・中生 四〇〇円(三〇〇円)
  - (一)内は、前売・団体料金
  - (熊本県立美術館)

### 熊本県立劇場自主事業の案内

●松竹大歌舞伎  
十一月十七日(水) 昼の部 十二時開演  
夜の部 五時開演

出演 市村羽左衛門・中村扇雀・坂東養助ほか  
総勢五十四名

- 中国越劇「紅樓夢」  
十二月八日(水) 午後六時開演  
A(指定席) 四〇〇〇円  
B(自由席) 三〇〇〇円(当日五〇〇円増)
- ペーパードラム第九  
十二月十一日(日) 午後六時半開演  
指揮 大友直人  
演奏 熊本交響楽団  
合唱 熊本県合唱連盟合唱団

お問い合わせは  
熊本県立劇場事業課へ  
熊本市大江二丁目七七一  
電話 〇九六三二一六三二(二三三三)代

### 青年海外協力隊の説明会

開発途上国の国づくりの一助として、政府が海外に青年を派遣する制度が青年海外協力隊です。

このたび、昭和五十九年度の隊員募集活動の一環として、県下で左記五回の説明会が開催されます。「自らの力を試したい」という方はぜひ参加してください。なお資格は、満二十歳以上原則として三十五歳までの日本の青年男女です。

#### 記

- 第一回 昭和五十八年十月二十九日(土)  
日時 昭和一四・〇〇一八・〇〇  
会場 熊本市産業文化会館(熊本市花畑町七十一) ☎二五二二二二二
- 第二回 昭和五十八年十一月九日(水)  
日時 昭和一八・三〇二二・三〇  
会場 熊本市産業文化会館
- 第三回 昭和五十八年十一月十日(木)  
日時 昭和一八・三〇二二・三〇  
会場 山鹿市民会館(山鹿市山鹿一) ☎〇九六八四一三一・一三五
- 第四回 昭和五十八年十一月十一日(金)  
日時 昭和一八・三〇二二・三〇  
会場 八代市厚生会館(八代市西松江城町一四七) ☎〇九六五三二二二・二九六
- 第五回 昭和五十八年十一月十二日(土)  
日時 昭和一四・〇〇一八・〇〇  
会場 熊本市産業文化会館 (広報外事課)

### 第十六回消費生活展開催

県では、毎年消費者の皆さんに生活に関する知識や、新しい情報を提供し、消費者自身がそのなかから消費者問題の所在をしつかり認識していただくため「消費生活展」を開催しています。本年度は、菊池市で開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

- 一 主催 熊本県、菊池市、国民生活センター、熊本県貯蓄推進委員会
- 二 会期 昭和五十八年十一月五日④・六日⑤
- 三 場所 菊池市勤労者体育センター
- 四 テーマ 「健康で安全な生活のために」
- 五 趣旨 昭和三十年代以降、大量生産、大量消費が定着するに伴って、わたくしたちの生活は豊かになってきました。しかし、それとともに欠陥商品、有害食品の類はあつた。たす社会的な問題として強く意識されるようになりまし。そこでわたくしたちの周囲の生活を見直し、健康で安全な生活を送るようするため、この生活展を開催するものです。

#### OSマーク



国は、生活用製品のうち、構造・材質・使用状況からみて生命または身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を「消費生活用製品安全法」に基づき「特定製品」と指定し、国で定めた安全基準に適合しているかをチェックします。そして合格した製品につけられるマークがOSマークです。



SGマークは、消費生活用製品安全法にもとづいて設立された製品安全協会がこの製品は安全です」と認定した場合につけられるマークです。

このマークは、豆腐・納豆など県内で生産され流通している食品で、製造施設や品質などについて県が認証した食品に表示されています。